



新事務所・第二工場

- 本社所在地：徳島県名西郡神山町
- 事業概要：鉄骨加工業
- 常時使用する従業員：12名
(2026年2月時点)
- 現在の売上高：23億円
(2025年5月期)
- 法人番号：7480002005991
- Web：
<https://www.kamiyama-tekko.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
上古見 英典

規格外の生産力を、再現可能な力へ

当社は、少数精鋭で建築用重量鉄骨の製作を担い、現場の知恵と改善を重ね、「わずか十数名で23億円規模」の生産性を実現してきました。その根幹は、現場の無理に頼らず、受注後に工程を極限まで最適化し、品質と納期を両立させる「高度な工程設計力」にあります。2023年の第二工場、25年の新事務所設立により、スケール拡大の土台は完成しました。今後は、自動化・標準化・人材育成で再現可能性を高め、重機・物流の最前線で社長代行の実務経験を持つ専務の知見も活かし、製造から輸送・建方までを一貫統制する「神山モデル」を確立します。併せて、客観的指標に基づく財務健全性を維持し、売上100億円のメガファブへの飛躍を宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2028年 30～40億円 ⇒ 2031年 50～70億円
⇒ 2033年 70～90億円 ⇒ 2035年に売上高 100億円を達成

①既存拠点の高度化（自動化・標準化・一貫体制）による成長と、
②協業/M&Aによる成長の“二本立て”で到達する

成長率目安：年率平均 約17%程度
獲得資金は、自動化・人材育成・Sグレード水準の品質保証・輸送/建方体制へ重点再投資し、賃金・待遇改善につなげる。

課題

- ・規格外の生産力の“再現可能化”
- ・製造だけでは完結しない遅延リスク（輸送・建方）の解消
- ・Sグレード水準の品質保証・検査エビデンスの常時生成
- ・人材確保・育成と安全衛生の強化（組織拡大への耐性）
- ・協業/M&Aの実行力（短期導入可能な神山モデルの確立）

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・最新自動化設備を導入し、工程投入順・段取り・溶接条件の標準パラメータ化で「機械が止まらない」生産を実装
- ・自社専属の輸送体制と建方・施工管理機能を整備し、製造～現場の工期を一貫統制
- ・検査記録・トレーサビリティ・是正プロセスを標準化し、案件が増えても品質が揺れない体制へ
- ・教育カリキュラム、技能評価、資格取得支援、安全基準を整備
- ・確立した「神山モデル」を、M&A先へ短期導入し、即戦力化

実施体制

代表取締役：全体責任者。対外折衝・重要顧客（ゼネコン）開拓 全社の工程最適化方針を主導。

専務：推進責任者。重機・物流業界での組織統括の実績を活かし
①工場の設備稼働統括 ②輸送部門立上げ
③建方・施工管理部門の組織化 を直接指揮。

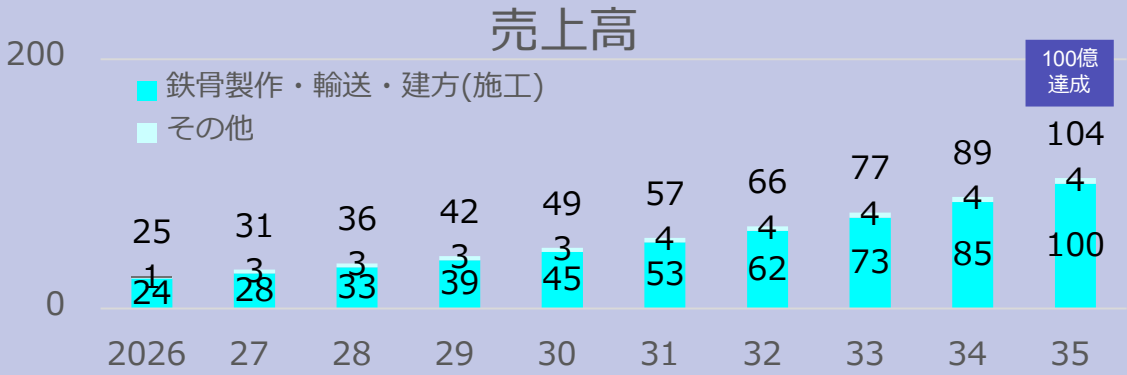
工場長：品質・安全責任者。Sグレード取得に向けた品質保証体制の構築と、次世代を担う人材育成・安全管理を徹底。

金融機関：阿波・徳島大正・伊予銀行等と協働し、成長資金の調達、協業/M&A等の案件発掘・スキーム構築を推進。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と課題

売上高100億円へのロードマップ



2028年（売上高30～40億円）

第二工場の能力を最大化するため、最新自動化設備を導入し、標準化・段取り最適化を進めます。併せて、人材育成を強化し、自社専属の輸送体制を立ち上げます。

2031年（売上高50～70億円）

輸送体制の本格稼働と施工管理機能の整備により、製造～輸送～建方を一貫統制し、工期遅延リスクを低減します。
生産性向上で得た原資を人への投資（教育・処遇改善）へ還元し、定着と採用力を高めます。

2033年（売上高70～90億円）

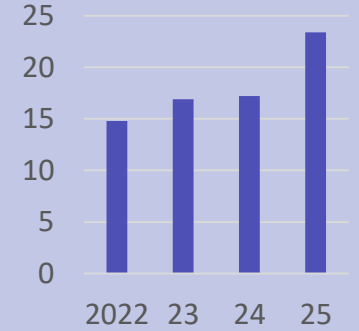
関西圏を中心に協業/M&Aを実行し、確立した「神山モデル」（工程設計・標準化・品質保証・輸送/建方を統合した生産体制）をM&A先へ短期導入して即戦力化します。

2035年（売上高100億円達成）

Sグレード認定取得を目指し、大型案件の直接受注を含む事業拡大を実現。西日本を代表する総合鉄骨メガファブ体制を完成させます。

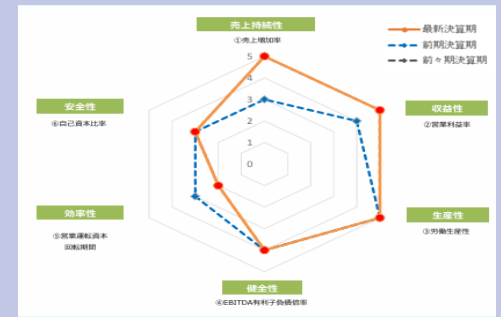
実現可能性を裏付ける客観的指標

①少数精鋭でも伸びる生産性



※2012年⇒2025年 売上高 約10.5倍

②大規模投資を完遂できる財務基盤



100億の壁を突破するための最重要課題

次世代生産基盤の構築

拡張した第二工場をフル稼働させるため、技能を自動化設備と標準条件へ落とし込み、「機械が止まらない」生産体制を実装します。

製造～建方の一貫統制体制

物流・施工力不足による遅延リスクを低減するため、輸送体制と施工管理機能を整備し、製造から建方までを一貫統制します。

神山モデルの移植（協業/M&A）

Sグレード水準の品質保証・検査エビデンス生成を標準化し、将来の協業/M&A先へ短期導入して即戦力化できるパッケージを整備します。